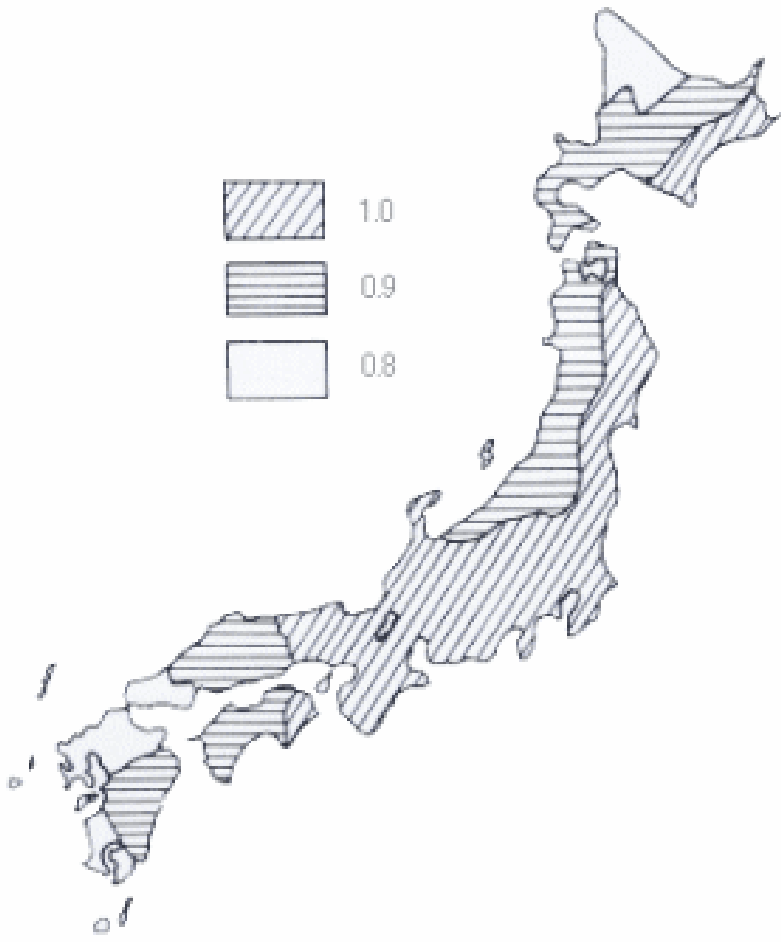


新潟県も「国が耐震基準を1割引き」している地域

避難所となる学校の体育館や校舎が地震で壊れた――熊本地震では大きな問題となりましたが、その背景には国が耐震基準を首都圏よりも1割低くすることを認めていたということがあります。これは6月5日付の「しんぶん赤旗」日曜版でもとりあげられました。

国の耐震化の指針では、「地震が発生しにくい地域」において、建物に求める強度を1割または2割、割り引くことを認めていて、この割引率のことを「地震係数」と呼びます。具体的な数値は国土交通省の告示（昭和55年11月27日告示第1793号）によって地域ごとに決められています。

左の図（日本建築学会「地震荷重―その現状と将来の展望」より転載）をごらんください。日本列島のうち北海道の北部や九州の北部、山口県などは白色になっていますね。この地域は



建物に求める強度を2割、割り引くことを認めている地域で、「地震係数」が0.8となっている。北海道の中央部から本州の日本海側の富山県あたりまで、中国地方の中央部、四国の大分、九州の太平洋側のほとんどは「地震係数」が0.9です。このなかには新潟県がすっぽり入っています。なお、沖縄は図にはありませんが、0.7とされています。

ただ、国交省の告示で数値が定められているからと言って、建物の建設にあたって、その数値がそのまま適用されているとは限りません。熊本県宇土（うと）市のように、国の指針通りでいくと2割引きしてもいいことになっていますが、「学校は特に安全性が大事」（宇土市教育委員会）との判断で割り引かなかったところもあるからです。

上越市ではどう対応してきたのか。日本共産党議員団では、今後、議会の中でとりあげることになっています。続報します。



【ツルアリドオシ】アカネ科の多年草。葉は常緑です。漢字を入れて書くと、「蔓蟻通し」となります。林のすそ野などで地面を這うように広がっています。花は白、小さくてとてもかわいい。吉川区代石で撮影。

1年3か月ぶりに一般質問へ

6月定例市議会は14日から一般質問に入ります。今回は改選後初の定例議会ですので、大勢登壇するかと思ったら、質問通告は14人どまりでした。日本共産党議員団からは4人全員が通告を出しました。

私は北陸新幹線。えちごトキめき鉄道開業1年を経たなかでの課題と対策、安倍内閣の消費税増税先送り問題、原子力災害時の避難計画の見直しについて市長に質問します。質問の順番は13番目ですので、登壇するのは16日の午前2番手か午後の1番になる見込みです。



森ゆうこ元参院議員等と直江津・三八市で街頭演説

森ゆうこ元参院議員の上越事務所開きが3日に行われ、その後、すぐに三八市へ行きました。街頭演説をし、市（いち）の関係者やお客さんなどに訴えるためです。

演説では森ゆうこ元参院議員、小山芳元県議、馬場秀幸弁護士とともに市民の皆さんに、「安保法制の廃止のために力をあわせてたたかいましょう」と訴えてきました。天気がよかったのでお客さんも多く、森元参院議員も歩いてお店の人たちやお客さんと交流しました。顔なじみの人が多く、「頑張って」と私も激励されました。



No.1760 2016.6.12
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

春よ来い

第四〇八回

黄色いポタン

花はひとつ咲くだけでも人を励ますことがあります。その花が二三年ぶりに咲いたとなればなおさらのことです。

わずか一〇軒ほどの山間集落に住むKさんは夫を亡くして一〇年ほどになります。一人暮らしとなつてからの楽しみの一つは庭などに咲く花を見ることです。庭に咲く花は自分が見るだけでなく、時どきとつて仏様にあげています。

先日、Kさんを訪ねたときにはバラの花が家の下見にくつつくようにしてひとつふたつと咲いていました。色は薄いピンクです。近くにはこれから開いてくるつぼみがいくつかありました。以前訪ねたときは雪が降る頃に咲いていましたから、この家のバラはほぼ一年を通じて咲いているのかも知れません。

この日、Kさん宅の居間でお茶をご馳走になったときに聴いた花の話がとても興味深いものでした。花は落葉小低木のポタン（牡丹）です。

Kさんが鉢植えのポタンをもらったのは二三年前の母の日でした。咲いていた黄色い花はとてもきれいで、当初、鉢植えのままずっと大事にしていこうと思つたそうです。でも、ひと冬越した段階で「これは面倒みらんねな」と思い、前庭のひまわりのそばに植え替えたのでした。地におろせば毎年黄色い花を咲かせてくれるにちがいない、そう期待していたKさんですが、しかし、植え替えたポタンはそれ以降、咲くことがなくなつたのです。次第に期待は薄らぎ、「はい、咲かんと思つた」そうです。

ところが先月の朝のこと、Kさんが仏様にあげる花をとろうと思つてポタンの植えてある場所に行くと、なんと、そこには黄色い花が開いていたのです。驚いたことは言うまでもありません。じつは、鉢植えのポタンをプレゼントしてくれたのはKさんの娘さんでした。その娘さんはプレゼントした翌年、若くして亡くなつていたのでした。今春、二三回忌法要が行われたばかりでした。

母の日のプレゼントにポタンの鉢植えをもらった二三年前はお連れ合いもまだ元気でした。地におろして、いつ咲くかと待つていたのはKさんだけではなかつたはず。そう思つて、「ほしや、じいちゃんに見せねきゃならんねかね」と言うのと、「あの世に行つてんがすけ、見らんねこて」という言葉が返つてきました。でも続けて、こうも言つたのです、「写真を撮らんで損をした」と。心の中では写真に撮つて仏壇のところへ持つて行きたかつたのかも……。

話をしながらKさんは、私に食べてもらいたいと飯台の上にゆで卵や山菜料理などを出して下さいました。この日、私は別の家でもいろいろとご馳走になつていましたので、腹の中にはそう簡単には入りません。手を伸ばさないうでいたら、「こりや、別腹だ。食べてくんない」と小皿に入つたネマガリダケとフキの煮物が出されました。こうなれば食べないわけにはいきません。でも、口に入れたら味はあっさりしていて美味し。タケノコは尾神岳で採つてきたものだとかで、とても柔らかかったです。

Kさん宅の居間には柱時計があります。煮物を食べ終わつたところで時計が一回ボンと鳴りました。午後四時半を知らせてくれたのです。

私は夕方から会議でした。おいとまを告げ、外に出たとき、Kさんは庭先のポタンの咲いた場所へ案内してくれました。黄色い花はすっかりしぼんでいたものの、葉には勢いがありました。Kさんは、「来年はここにいられたかどうか」と言いましたが、まだまだ元気です。今度咲く時には一番いいタイミングで写真を撮つてあげようと思ひます。

30回目の県知事杯パラ大会賑わう

第30回の県知事杯パラグライダー大会が尾神岳で4日、5日と行われました。2日とも天気に恵まれ、市内外からの見物客でにぎわいました。私は4日午前尾神岳に登り、パノラマハウス付近で楽しみました。

私がパラグライダーの大会を見にでかけたのは久しぶりです。この日は記念すべき節目の大会ということもあって72人の人たちがエントリー、見物客も大勢でしたね。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月1日(水)	6月8日(水)
上越南消防署	0.040	0.050
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.043	0.047
頸南消防署	0.057	0.047
東頸消防署	0.050	0.047
高士分遣所	0.043	0.050
名立分遣所	0.057	0.057

離陸地点では時々横風が吹き、選手たちを悩ましたのですが、いったん飛び立つてからは順調でした。私はパノラマハウスのところで撮影を続けました。虹が出たときの写真、パラがいつせいに同じ方向に進む姿の写真などこれまでにない写真を何枚か撮ることが出来ました。

私はこれまで何度かパラグライダーの大会を見てきましたが、この日の大会がこれまでのなかで一番いい条件だったのでないでしょうか。尾神岳は私にとってふるさとの山であり、思い出の地でもあります。パラグライダーの初心者練習場となっているところは

わが家の牧草地だったところです。展望台から眺めることができる風景は美しく、日本海に沈む夕日、秋の稲の収穫時、田んぼが黄色くなった風景はまさに絶景です。多くの皆さんから出かけてもらいたいですね。